

関連科目〈資格関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
社会的養護Ⅱ		17640	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
曾田 里美	選択	1	児童養護施設職員		

### 授業の到達目標

現代の子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、それに伴い家庭での養育機能は脆弱化している。家庭養育だけでは子どもの養育は困難な状況となり、国や社会で子どもたちを養育・保護する「社会的養護」が重要となる。地域社会をも含めた施設養護および家庭養護の本質と機能を理解し、援助技術について実践的活動事例を通して学びを深める。  
このクラスではKAISEIパーソナリティのS（奉仕）を養う。

### 授業の概要

児童福祉施設に入所・利用している子どもたちの背景には多様で複雑な状況がある。それらの子どもたちの心身の成長や発達を保障し援助するための具体的な知識・技能を習得する。また、里親家庭で暮らす子どもについてその現状、施設養護との違いを理解する。さらに、社会福祉専門職として、これらの児童に対する社会的支援の必要性についても理解する。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション 社会的養護Ⅱを学ぶにあたって
- 2 社会的養護の基礎理解
- 3 社会的養護における支援内容
- 4 社会的養護の実例①(養護施設)
- 5 社会的養護の実例②(家庭養護)
- 6 社会的養護の実例③(障害施設)
- 7 社会的養護のこれから
- 8 まとめ

### 授業の方法

講義とディスカッションを中心とする。双方向の授業のため積極的な参加を求める。

### 準備学修

日ごろから新聞、ニュース等で子どもを取り巻く問題に関心を深めておくこと。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

公欠以外の欠席は原則認めない。欠席は成績評価において減点する。

### テキスト

必要に応じて資料を配布する。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子ども家庭支援の心理学		17763	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
島田 麻美子	選択	2	臨床心理士、公認心理師		

### 授業の到達目標

生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。子どもの精神保健とその課題について理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

生涯発達という視点から、発達の諸特徴や発達課題、初期経験の重要性について学ぶ。また、社会や文化の時代的変化とともに変容し、多様化してきた家族・家庭について理解を深める。保育者として、人の生涯発達について理解した上で、家庭の持つ意味と現状、そしてさまざまな課題を抱える子どもや家庭の理解と支援につながる力を身につけることを目指す。テーマに関連する事例を挙げ、具体的な支援場面へどうつなげていくかを考える。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション、生涯発達とは
- 2 乳幼児期から学童前期にかけての発達
- 3 学童期後期から青年期にかけての発達
- 4 成人期から老年期にかけての発達
- 5 家族関係・親子関係の理解
- 6 子育ての経験と親としての育ち
- 7 子育てを取り巻く社会的状況
- 8 ライフコースと仕事・子育て
- 9 多様な家庭とその理解
- 10 特別な配慮を要する家庭への支援①
- 11 特別な配慮を要する家庭への支援②
- 12 子どもの精神保健とその課題
- 13 子どもの生活・生育環境とその影響
- 14 子どもの心の健康にかかわる問題
- 15 まとめ

### 授業の方法

講義とグループディスカッションを中心とする。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

グループ発表後は、担当教員よりフィードバックを行う。  
平常点30%、課題レポート20%、定期試験50%

### 欠席について

学内の規定に従う。

### テキスト

適宜プリントを配布する。

### 参考図書

原信夫・井上美鈴編著『子ども家庭支援の心理学』北樹出版  
松本園子他『子ども家庭支援の心理学』ななみ書房